

令和6年 新年賀詞交歓会開催報告



令和6年1月16日（火）12時20分から、ホテルグランドアーク半蔵門4階「富士の間」において、国会議員、国土交通省、士業団体他友好団体等から多数の来賓の方々をお迎えして、新年賀詞交歓会を開催いたしました。

冒頭、本年1月1日16時10分に発生した能登半島地震の犠牲者、被災者並びに翌2日の羽田空港での日本航空旅客機と海上保安庁の航空機との衝突事故により亡くなられた海上保安庁の乗組員に対し、黙祷をささげた後、吉村真行会長から挨拶が行われ、引き続き、石橋 林太郎氏（国土交通大臣政務官）、盛山 正仁氏（文部科学大臣）等からご祝辞をいただいた後、中村 裕昌氏（公益社団法人全日本不動産協会 理事長）のご発声により乾杯が行われ、なごやかな歓談のうち、盛会裡に賀詞交歓会を終えることができました。

吉村会長は、挨拶の中で「まずは、この度の令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復旧・復興のために我々不動産鑑定士も、出来る限り努めて参りたいと考えております。」

「さて、私も会長になりまして5年目となりますが、「業務拡充」「人材育成」「地位向上」という3つの取り組み方針を掲げ、「具体的な形とすること」、そして「新たな道を拓くこと」を心掛け、一つひとつ着実に取り組んでおります。また、不動産鑑定士の最大の強みである Appraisal（鑑定評価）、この強みを活かして Analysis（分析）、Advisory（助言・提案）を提供するという「3A」は、業界の将来ビジョンとして平成23年に提言させていただきましたが、今現在も不動産鑑



主催者挨拶（吉村真行会長）



来賓祝辞（石橋 林太郎 国土交通大臣政務官）

定士のあるべき姿であると確信しており、鑑定 Appraisal に、時代のニーズである助言 Advisory を組み合わせた「A+A」を世に認知いただけるよう尽力して参りたいと考えております。」

「大災害の現場においても、平成28年熊本地震における南阿蘇村での貴重な支援活動の経験を活かして、その後毎年のように頻発する全国各地の自然災害に対して、罹災証明書発行のための住家被害認定調査をはじめとした被災地・被災者支援活動に全国の不動産鑑定士が行政の皆様と力を合わせてオールジャパンで取り組んでおります。能登半島地震においても精一杯務めて参りたいと考えております。」

「また、令和2年3月、30年ぶりに土地基本法が改正され、5月に閣議決定されました土地基本方針には「不動産の鑑定評価の専門家の存在自体が不動産市場を支えるインフラである」と位置づけていただきました。私達は不動産鑑定士の役割、使命をしっかりと考え、「不動産の価値判断ができる専門家・実務家」として、そして、「有事の時こそ役に立つ専門家」として、国民目線を持って全力で取り組まなければならないと考えております。」

「これまで以上に社会的使命を果たせるよう会務に尽力して参る所存ですので、今年も引き続き皆様のご理解・ご支援をお願い申し上げます。最後になりますが、皆様のご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます」と述べました。



来賓祝辞（盛山 正仁 文部科学大臣）



乾杯

（中村裕昌 公益社団法人全日本不動産協会理事長）



来賓挨拶

（加藤 勝信 不動産鑑定士制度推進議員連盟会長）



中締め（宮達 隆行 副会長）



ご来場いただいた国会議員の方々（順不同）



瀬戸 隆一 財務大臣政務官



保岡 宏武 衆議院議員



中西 健治 衆議院議員



葉梨 康弘 衆議院議員



豊田 俊郎 参議院議員



小林 鷹之 衆議院議員



片山 さつき 参議院議員

このほか、三宅伸吾防衛大臣政務官、石井正弘参議院議員にもご来場いただきました。